

愛知医科大学病院を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	抗悪性腫瘍薬の副作用に対する糖尿病治療薬の影響
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	愛知医科大学 客員教授 築山郁人
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕 抗悪性腫瘍薬の有害事象や効果に対する糖尿病治療薬の影響を調査することを目的としています。</p> <p>〔対象となる患者さん〕 悪性腫瘍に対し抗悪性腫瘍薬の投与を受けた患者さん。研究実施承認日から遡って 200 症例の集積可能な期間を対象とします。</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日</p> <p>〔利用方法〕 診療録から、抗悪性腫瘍薬、併用薬、副作用の発現状況、臨床検査値などを抽出し、糖尿病治療薬使用の有無で分類し、副作用の発現状況や治療効果を後方視的に調査します。診療情報から、お名前、ご住所など個人を特定できる情報は切り離して解析を行います。結果を学会や論文などに発表することがありますが、個人を特定できる情報を公開することはありません。ご希望により研究の方法に関する資料を閲覧することが出来ます。ご希望の場合には、お電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：年齢、性別、身長、体重、PS、Stage、BUN、Scr、AST、ALT、WBC、NE (Neut)、PLT、Hb、血清アルブミン値、CRP、使用した薬剤の種類および投与量、副作用の記録など
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当
提供する試料・情報	非該当

を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年3月31日までにお電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 担当者：客員教授 築山郁人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12570)